

✿ 毎月23日は「福岡市 子どもと本の日」です ✿

～ 子どもの読書活動を推進しましょう ～

□ ご存じでした？

4月2日は「国際子どもの本の日」です！

1966年、第1回国際アンデルセン賞名誉賞を受賞したイエラ・レップマンが、ハンス・クリスチャン・アンデルセンの誕生日にちなんで、4月2日を「国際子どもの本の日」とし、世界中でお祝いや催しなどを行うことにより、子どもの本に対する関心と呼び起こすことを提唱しました。

このことを受け、国際児童図書評議会（IBBY）は、翌1967年、この日を「国際子どもの本の日」に決めました。以後、各国ではさまざまな催しが行われるようになりました。この日に向けた子どもたちへのメッセージとポスターは加盟各国が順番に作成にあたっています。本年度はロシア（ミハイル・フョードロフ作）です。（写真右は日本語版ポスター）



♪ 国際児童図書評議会（IBBY）とは？

IBBY(International Board on Books for Young people)は1953年にスイスで設立された、子どもと子どもの本に関わるすべての人をつなぐ世界規模のネットワーク団体です。

国際アンデルセン賞の選考や、世界の優良図書リストの作成などの活動を行っており、「子どもの本の国際連合」とも呼ばれ、本部はスイスのバーゼルに置かれています。

日本では日本国際児童図書評議会（JBBY）がIBBYの窓口として活動しています。

♪ 国際児童図書評議会（IBBY）の目的

- 子どもの本をとおして国際理解をすすめること
- 世界中の子どもたちが、文学的、美術的に質の高い本にめぐりあえるようにすること
- 世界中ことに発展途上国において、すぐれた子どもの本の出版や普及を奨励すること
- 子どもと子どもの本に関わる人々を支援し、その能力を高める機会を提供すること
- 児童文学関連の学術研究、調査活動を行うこと

\* JBBY（一般社団法人日本国際児童図書評議会）のホームページ・アドレス

☞ 「国際子どもと本の日」のことが詳しく掲載されています。

<http://www.jbby.org/ibby/activities08.html>

## □ 役に立つサイトみつけ！ < 今年度で紹介したサイト一覧 >

年度末にあたり、平成28年度の「福岡市子どもと本の日」通信で紹介した「役に立つサイト」をまとめました。ぜひ、ご活用ください。（括弧内に掲載月を示しています。）

- 1 「**読書推進協議会**」 <http://www.dokusyo.or.jp>  
春4月は「こどもの読書週間」、秋10月は「読書週間」、この両者を推進している団体が「読書推進協議会」です。どちらもポスターやロゴ、標語のポップなどが、同協議会のホームページからダウンロードが可能です。（4月号・10月号）
- 2 「**元気な学校図書館プロジェクト**」 [元気な学校図書館](#) と入力の上検索を。  
あるIT企業が運営する図書館サポートのサイトです。フル利用には会員登録（無料）が必要ですが、東北各県の学校図書館の取り組みを紹介した「りぶしる」というサイトは登録が無くとも閲覧可能です。学校図書館の運営や読書活動の参考に。（5月号）
- 3 **教育家庭新聞「学校図書館Q&A」** <http://www.kknews.co.jp>  
学校図書館の運営に関する現場の悩みに、現場の先生方がQ&A形式で答える連載が掲載されています。また、関東地区の学校図書館の紹介記事もあります。（6月号）
- 4 **文部科学省「学校図書館の整備充実について（通知）」**  
[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/dokusho/link/1380597.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/dokusho/link/1380597.htm)  
「子どもと本の日」通信8月号で紹介したのは審議のまとめでしたが、その後11月29日付で通知がだされましたので、そちらを紹介します。別添に「学校図書館のガイドライン」が添付されています。（8月号）
- 5 **東京学芸大学「デジ読評価プロジェクト」** <https://sites.google.com/site/dejidoku>  
学校図書館の機能を十分に活用した、これからの授業づくりのための研究プロジェクトとして行われているものです。学習指導用のアプリや授業実践例、授業づくりのための教育コンテンツ集、実践研究協力校の通信などがダウンロードできます。（9月号）
- 6 **文部科学省「子ども読書の情報館」** <http://www.kodomodokusyo.go.jp/index.html>  
子どもや保護者はもとより、地域ボランティアや学校図書館関係者など、読書活動に関わる多様な関係者をサポートするサイトです。「読み聞かせに関する情報」「年齢別、カテゴリー別本の検索」その他で多くの内容で構成されています。（1月号）
- 7 「**どくしょ応援団**」 <http://www.asahi.com/shimbun/dokusho/>  
乳幼児から高校生ぐらいまでの子どもの読書活動を推進する事業として、朝日新聞社が運営するサイトです。子ども自身、保護者、学校図書館関係者など、こちらも多様な年齢層の人たちが活用できる、興味を引く内容がいろいろあります。（2月号）

☞ 昨年3月号にも、「紹介サイト一覧」が掲載されています。合わせてご利用ください。

□ 福岡アジア美術館・福岡市総合図書館からのお知らせ（3月～4月）

\* 福岡アジア美術館

「アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ」：3月後半から4月の日程です。

（3月）26日（日），28日（火）

（4月）9日（日），11日（火），23日（日），25日（火）

（時間）11：30～12：00，13：00～13：30

（1日2回）

（会場）7階「キッズコーナー」（申込みは不要です）



♪ お知らせ

福岡アジア美術館と福岡市博物館では、4月23日の「子ども読書の日」を受け、今年も「本と出会えるミュージアム 2017」を開催します。開催期間、その他詳細は次号で案内いたします。

\* 福岡市総合図書館

毎月の「おはなし会」：3月後半から4月の日程です。

（3月）25日（土），26日（日）

（4月）1日（土），2日（日），8日（土），9日（日），15日（土），

16日（日），22日（土），23日（日），29日（土），30日（日）

♪ 時間と場所：土曜日：14：30～15：00（幼児向け）

日曜日：14：30～15：00（幼児向け）

15：15～15：45（幼児～小学生向け）

場所：「こども図書館 おはなしの家」です。



□ 図書館員のひみつの本棚 《No.131》

福岡市総合図書館 読書相談員の重村さやかさんがすてきな本を紹介してくださるコーナー。これを読んだら、きっと誰かに手紙を送りたくなるかも・・・

♪ 今月の「図書館員のひみつの本棚」の本

『てがみはすてきなおくりもの』

（スギヤマ カナヨ／著 講談社 2003年 1404円）



## □ 図書館歳時記（4月上旬～下旬）

読書活動の参考に！

### ✿ 記念日関係

- \* 4月 2日：「国際子どもの本の日」：最初のページに紹介しています。
- \* 4月10日：「教科書の日」：新しい教科書に出会うこの月，教科書を大切に扱うことなどをよびかけようと，一般社団法人教科書協会が制定しました。
- \* 4月23日：「世界図書・著作権の日」（世界本の日：World Book Day）：  
1995年のユネスコ総会で，読書・出版・著作権（知的財産権）の保護促進を目的に制定されました。
- 同 「サン・ジョルディの日」：スペインのカタルーニャ地方を発祥とする記念日。カタルーニャ地方では，美と教養，愛と知性のシンボルとして大切な人に薔薇と1冊の本を贈る習慣があるのだそうです。素敵ですね。
- 同 「子ども読書の日」「福岡市子どもと本の日」：  
この日を文科省は「こども読書の日」としています。福岡市は「福岡市子どもと本の日」としているのはご存じのとおりです。



こども読書の日のポスター

### ✿ その他（本の創刊日など）

- \* 4月 1日：雑誌「白樺」創刊（1910）
- \* 4月14日：ウェブスター「アメリカ英語辞典」出版（1828）
- \* 4月15日：「古今和歌集」完成（905）

### ✿ 3月・4月に関係する文学者・詩人・俳人たち

#### ♪ 3月・4月生まれの主な文学者たち

3月25日	樋口 一葉（1872）	3月27日	遠藤 周作（1923）
4月 2日	アンデルセン（1805）	4月 7日	小川 未明（1882）
4月11日	金子みすゞ（1903）		

#### ♪ 3月・4月に亡くなった主な文学者たち

4月13日	石川 啄木（1912）	4月16日	川端 康成（1972）
4月23日	シェイクスピア（1616）	4月23日	セルバンテス（1547）

### ✿ 4月生まれの作家から：日本のアンデルセン 小川未明

4月生まれの文学者の中に、「日本のアンデルセン」と評される人がいます。それが小川未明です。代表作は「赤い蠟燭と人魚」「月夜と眼鏡」「野ばら」などです。彼は昭和21年に創立された「日本児童文学者協会」の初代会長を務めた人でもあります。彼の母校である上越市立大手町小学校には、「野ばら」の一節が書かれた石碑が建てられています。

♪あとかきにかえて \* \* \* \* \*

年を重ねるたびに、月日の経つ早さが加速しているように感じられます。子どもの読書活動に携わっていらっしゃる皆様方の、その熱意に感動しつつ、少しでも、そのような皆様のお役に立てただけのものを、という思いで、この通信の作成にあたってまいりました。豊富な経験をお持ちの皆様のご期待に、十分に沿えるものではなかったかもしれませんが、お役にたてただけのことが、たとえ少しでもあったならば、たいへんうれしく思います。

大人のかかわり方が、子どもたちの成長に大きな影響を及ぼすことはまちがいないことです。適切な大人の誘いにより、本に親しみを持つ子どもたちがますます増えることを願ってやみません。これからも、社会全体で、力をあわせて取り組んでまいりましょう。

この通信では、読書活動に関わるさまざまな方々の実践を、もっと紹介できたらと思っています。「このようなことをやっています。やります。」という情報をぜひお寄せください。連絡先は下記のとおりです。

さて、3年間この通信作成にあたらせていただきましたが、本号で最後の担当となります。これまで取材にご協力いただきました各学校や諸団体の皆様方、また、この通信に関心を持ち、ご愛読をいただきました皆様方に心から感謝申し上げます。

次号からは新たな担当者が作成にあたりますが、引き続きよろしく願いいたします。

発行：福岡市教育委員会 教育支援部 生涯学習課  
電話：711-4655 FAX：733-5538